

平成19年度の一般会計当初予算は、286億1,500万円で、前年度当初予算に比べて7億2,600万円、率にして2.6%の増になっています。

平成19年度当初予算編成に当たっては、厳しい財政環境のもとに、将来の都市像である「感動・創造都市～人が輝き 自然が輝き まちの個性が輝く理想郷～」実現のため、「第1次十和田市総合計画」に基づき、各種重点施策・事業の推進を図るために限られた財源の重点的かつ効果的な活用や経費削減、施策選択、事業見直しなどを行いました。

歳入

市税は税源移譲などの影響から前年度比8.3%増の69億6,187万円、地方交付税は同0.6%減の88億2,600万円、国・県支出金は同3.3%増の48億8,633万円、基金等繰入金は、同11.1%増の22億723万円を見込んでいます。

歳出

1.人と自然が共生する「しぜん感動・創造都市」

自然環境・景観の保全・活用を図るとともに、街並み、住宅、上下水道などの生活環境の整備、市街地や道路網・公共交通の維持・充実などの地域基盤の整備を図ります。

- 鉄道の緊急保全整備事業2,200万円
鉄道の重大事故が多発したことを背景とした国の通達に基づき、十和田観光電鉄株式会社に対して義務付けられた「緊急保全整備事業」について、国・県および沿線市町と協調して支援を行い、鉄道運行の安全確保と維持存続を図ります。
- 生活交通路線の維持対策事業4,087万円
国、県および関係市町との役割分担の下、生活交通バス路線を運行するバス事業者に対して、運行欠損補助を行い、地域における生活交通の維持・確保に努めます。
- 官庁街通り野外芸術文化ゾーン整備事業11億6,098万円
平成20年度開館予定の十和田市現代美術館の建設工事およびアート作品の展示工事などを行います。また、事前にイベントを開催し、アートの紹介および事業の周知を行います。
- 高森山総合運動公園の整備事業4億9,958万円
パークゴルフ場の平成20年度全面供用に向けて整備を引き続き行い、併せて、運動施設である多目的広場の整備とサッカー競技場の敷地造成などを進めます。

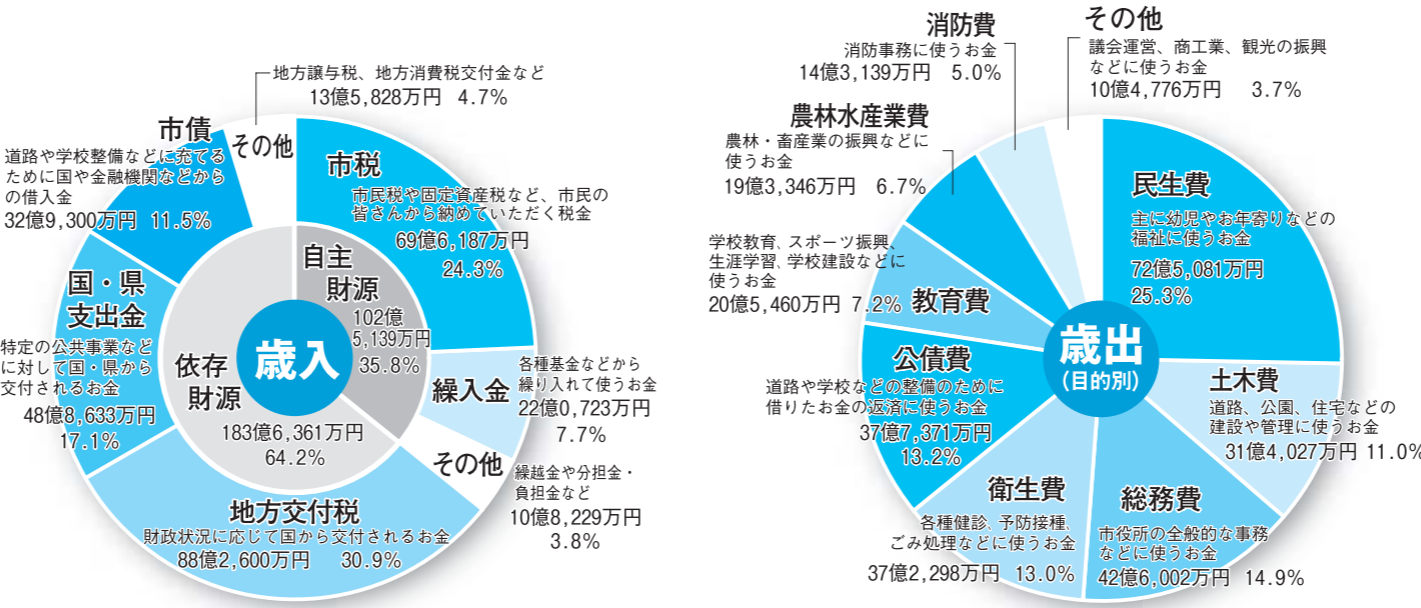
2.豊かな心をはぐくむ「こころ感動・創造都市」

生涯学習の総合的な推進体制の整備、子ども達の生きる力と夢・希望をはぐくむ学校教育の充実、市民文化を創造する文化・芸術活動の振興、市民の健康づくりに向けたスポーツ活動の振興を図ります。

- 西小学校建設事業5,214万円
西小学校児童に良好な学習環境を提供するために、建築後44年を経過した校舎などの建設に向けた実施設計、地質調査、測量調査を行います。
- アシスタントティーチャー派遣事業302万円
児童・生徒の教科指導を支援するために十和田市立の小・中学校の希望校に対して教員志望の大学生などを派遣し、児童・生徒の学力定着と授業理解度の向上に役立てます。この事業は、とわだっこ学力向上アクションプラン2007の1つです。
- 放課後子どもプラン事業335万円
市内8小学校の余裕教室などを放課後や週末に活用し、安全管理員、学習アドバイザーを配置することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを支援します。

3.安心・安全を支える「くらし感動・創造都市」

市民の健康づくりや地域医療の充実、ともに支え合う地域福祉活動の推進、子育て支援の充実、消防・救急や災害対策などの生活安全の確保を図ります。



予算用語の解説

- ◆一般会計 教育、福祉、道路の整備など十和田市の基本的な事務・事業に関する会計です。特別会計および企業会計に属さないすべての歳入・歳出が該当になります。
- ◆特別会計 特定の事業を行う場合や特定の歳入を特定の歳出に充てるなど一般会計と区分する必要がある場合に設置する会計です。平成19年度は、5つの特別会計があります。
- ◆企業会計 企業的な性格を持った事業を運営するために設置された地方公営企業の会計です。十和田市には、水道事業、下水道事業および病院事業の3つの企業会計があります。
- ◆自主財源と依存財源 市税や市の施設を使用したときの使用料など、市が自主的に徴収できる財源を「自主財源」といいます。「依存財源」とは、地方交付税、地方譲与税、各種補助金などのように、国や県から交付される財源をいいます。

各会計予算

会計名	予算額	前年比	増減率(%)
一般会計	286億1,500万円	7億2,600万円	2.6%
特別会計			
国民健康保険事業	76億0,052万円	7億5,258万円	11.0%
地方卸売市場事業	2,524万円	145万円	6.1%
老人保健	52億5,863万円	58万円	0.0%
介護保険事業	50億1,633万円	△1億3,343万円	△2.6%
温泉事業	7,000万円	△974万円	△12.2%
介護サービス事業	0万円	△2,607万円	廃止
公共用地先行取得事業	0万円	△868万円	廃止
企業会計			
水道事業	40億3,554万円	5億6,303万円	16.2%
下水道事業	58億9,344万円	6億6,121万円	12.6%
病院事業	169億5,943万円	59億2,652万円	53.7%

※企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額です。

- 消防団活動基盤の整備事業2,407万円
十和田市の3つの消防団に対して消防ポンプ自動車などを配備し、地域住民の身体生命と財産を守ります。
- 新市移動系防災行政無線整備事業9,876万円
現在、新市のエリア全体を1周波数でカバーできるデジタルの新しい移動系防災行政無線の整備を進めています。今年度は、焼山中継基地局整備工事などを行います。
- 十和田湖保育園改築事業1億3,900万円
建築後35年が経過する十和田湖保育園の改築工事を行い、園児の保育環境の向上を図ります。

4.にぎわいと活力あふれる「しごとと感動・創造都市」

市民が誇りをもって働くことができるように、農林水産業、観光、商工業などの振興を図り、新たな地域産業の創出を支援し、雇用の安定と確保を図ります。

- 商店街活性化事業267万円
商店街の空き店舗を活用し、くつろぎスペースやチャレンジショップなどを開設することにより中心商店街に活力とにぎわいと取り戻す事業を行っている十和田商工会議所や商店街振興組合連合会に対して支援を行います。
- 産学官連携事業300万円
十和田市にある北里大学と連携し、十和田湖和牛ブランドの確立や耕畜連携による循環型農業の検証などを行い、畜産業の振興を目指します。
- 「月がとっても青いから」カラオケコンクールへの助成事業50万円

「月がとっても青いから」実行委員会では、十和田市出身の歌手「菅原都々子」さんにちなみカラオケコンクールを開催します。このコンクールに対して、助成することにより十和田市を全国的にアピールします。

5.いきいきと活躍できる「しみん感動・創造都市」

地域づくり活動の支援や市民参画の推進、地域間交流や国際交流などの取組の充実を図るとともに、行政組織の効率化とスリム化の徹底、財政運営の健全化などを図ります。

- 十和田市行政評価システムの試行的導入事業0円
「最少の経費で最大の効果」、「社会福祉の向上」の基本に立ち返り、市民の視点から質の高く効率的な行政運営を進めるため、行政評価システムを試行的に導入します。
- 「(仮称)教育・福祉総合プラザ」基本計画策定事業218万円
教育及び福祉活動の拠点として整備を予定している「(仮称)教育・福祉総合プラザ」について基本計画の策定や計画策定フォーラムを開催します。
- 小学生交流事業334万円
友好都市である花巻市、土佐町、矢吹町および川南町の児童・生徒と交流を行い、友好交流の促進と協調性・主体性のある青少年の育成を図ります。
- いきいきまちづくり活動推進事業57万円
自らの地域に対する誇りと愛着をはぐくみ、地域住民の創意工夫による自発的で主体的なまちづくりを行う町内会や子ども会などを支援します。

6.行財政改革及び広域行政の推進

- 水道事業基本計画策定事業2,000万円
水道事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で、総合的な観点から目指すべき将来像を描き、その実現のための方策などを示す水道事業基本計画を策定します。

- 選挙に要する経費9,909万円
青森県議会議員選挙（4月）、青森県知事選挙（6月予定）、参議院議員選挙（7月予定）などの選挙が公正に行われるようにします。

問い合わせ先 財政課 (☎) 5 1 1 1 内線 1 7 2)